

# 安全衛生委員会だより 2019年8月号

## 8月の月間目標

# 感電災害防止

感電による労働災害の特徴は『**建設業に多く発生**』『**重篤化しやすい**』『**低圧による感電災害は夏季に集中する点**』があげられる。  
 夏季に低圧の感電死亡災害が多く（7～9月が多い）発生していることについて【**作業従事者が着衣を半袖にするなど、直接皮膚が露出することが多くなること**】【**作業従事者の発汗が多くなり、皮膚自体の電気抵抗や皮膚と充電物の間の接触抵抗が減少すること**】【**厳しい作業条件下での作業となること**】から、絶縁用保護具や防護具の使用を怠りがちになることが原因となっている。このため例年8月を「電気使用安全月間」と定め注意の喚起と電気安全知識の啓蒙活動が展開されています。

『**事故撲滅！ルールと手順を守って安全作業ヨシ！**』

## 8月の年間行事

# 電気使用安全月間（8/1～8/31）

## 品質管理情報

### 塩ビ管の施工上の注意事項

硬質ポリ塩ビ管・ポリブデン管などに軟質塩ビを接触させると軟質塩ビに含まれる可塑剤が影響し、**亀裂**が発生させる恐れがあります。

特に**使用温度が高い場合反応速度が高くなるため要注意**です。



その他注意事項は

『クボタケミックス施工起因事故の現象と防止対策集』

## 熱中症を防ごう！ 安全衛生委員会より

- 熱中症を防ぐには
  - ・日除けや通風をよくするための設備を設置する。
  - ・スポーツドリンクを置くなど水分、塩分の補給が容易にできるようにする。
  - ・身体を適度に冷すことのできる氷、冷たいおしぼりなどの物品等をそなえる。
  - ・作業中の温湿度の変化がわかるように、温度計、湿度計等を設置する。
  - ・日陰や冷房室など涼しい休憩場所を確保する。
  - ・十分な休憩時間や作業休止時間を確保する。
  - ・作業服は吸湿性、通気性の良いものを着用する。
  - ・適切な健康管理と適正配置を行う。
  - ・作業開始前はもちろん、作業中も巡視などにより作業者の健康状態を確認する。
  - ・安全施工サイクル活動等で熱中症予防について話し合う。

### ●手当の方法

- ・涼しいところで安静にする。
  - ・水やスポーツドリンクなどをとらせる。
  - ・体温が高いときは、裸体に近い状態にし、冷水をかけながら扇風機の風をあてる。氷でマッサージするなど体温の低下をはかる。
- ◎意識がない場合は、直ちに119番に通報する。



## 東北支店

2019年度 6月における長時間労働の実態は次のとおりです【管理職含】

- ・60時間超(単月) 6月:0名、5月:0名、4月:0名、3月:3名、2月:3名、1月:1名、60時間超が5カ月連続:0名
- ・休日4日以上 6月:5名、5月:5名、4月:3名、3月:16名、2月:7名、1月:1名、12月:5名、

時間外集計	100時間超			70時間超～ 100時間未満			3ヶ月連続 70時間超の者
	6月	5月	4月	6月	5月	4月	6月
総務部門	0	0	0	0	0	0	0
営業部門	0	0	0	0	0	0	0
ES部門	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

### ●スポーツドリンクと経口補水液の違い！

ドラッグストアなどで手軽に買える経口補水液(OS-●)は、熱中症予防に効果的だと言われています、

まさか！がぶ飲みしてる方は・・・いらっしゃいませんよね!!

確かにスポーツドリンクより糖分は少な目ですが、ナトリウムやカリウムは多めなんです！

しかも、「軽度から中等度の脱水状態の時に飲みください」・・・なので、用法・用量を守るだけでなく、血圧・糖尿に気を遣われてる方は、念のため医師に相談されると良いでしょう

※スポーツドリンク摂取も糖分過多に要注意！

※ お問い合わせ・ご意見はメールでも結構です。

